

すぎなみ社会起業家塾～イノベーションは杉並から起こす～

ワークショップDの概要報告 (06年2月15日(水)19時より) 東島

演題：事業アイデアの導出

ワークショップのテーマ：「近所に大きなお屋敷があります。庭も広く、小さな森であるかのように木々が並んでいます。お屋敷にはおばあさんがひとり住んでいます。屋敷森の管理に困っています」

そこで、

- 1) 地域の住民
- 2) 行政職員
- 3) 地域企業の社会貢献担当

の立場に立ってそれぞれの立場からこの課題を解決してください。

- 1 参加者は、このテーマをみて頭に浮かんだ言葉をそれぞれ出してみました。

設問1 「どんな課題が考えられますか？」

森について

防犯・防火・小動物の排泄物・昆虫などの自然教室・採れるもので食事を作る・ごみ捨て
私有林保護・近隣住民との関係・樹木環境の維持・倒木

庭について

清掃・庭師などの手入れ・庭開放・古井戸などの危険物・歩行者が通る・管理人・剪定教室
智慧を聞く教室

おばあさんについて

介護・看護・ごみ処理・頑固のイメージ・健康問題・物識り・話し相手・買い物代行・デイ
ケア・清掃代行・訪問PC教室・NPOに部屋開放・弁当作り

あなたの立場

- 1) 2) 3) の立場

コミュニティー

おばあさんのケア・関係者は持ち主、管理者、隣人となる・行政は課題が出てから・行政の環境調査・行政の支援体制に関心あり・街づくり・町会、自治会の動き

- 2 あなたの立場から

設問2 「どんな課題が特に重要か、同じ立場の方と話し合っ解決したい課題を一つ決めてください。

新谷さんより、課題を設定することになった。

ア) ごみの問題(不法投棄と自然の保護)

イ) 一人暮らしのおばあさん

ウ) 森の資源環境の価値をあげる観点から、ア)とイ)を考察する。

あなたの立場で話し合っって課題解決をしてください。

参加者は三グループに別れ、ワークショップする。

3 3グループの意見発表

1) 地域の住民のまとめ

- ・地縁、血縁などの組織を再生する動き ・公園化 ・収穫祭などお祭り催事を計画
- ・自主的な活動（お祭りなど）を通じて起こす ・学生、こどもの教育の場にする活動
- ・子どもの居場所づくり ・スローライフを学ぶ ・キーパーソン発見、人づくり

<まとめ>

森が地域住民の居場所になる活動を起こし、自分たちで見守るまちにする。

2) 企業の社会貢献担当

- ・森の生産物の利用法、活用法を検討する ・四季折々の食材・花・実などの調査を経て利用法を考える ・歴史的価値を調査することを寄与のポイントにする ・森が何を生んでいるのか調査する、住民が認識を新たにす
- ・このような調査、知見を他企業、NPO 等に情報公開、起業化の提案

<まとめ>

事業モデルを企業の貢献策として提出し、社会的な課題を提案する。これが企業の社会貢献となる。

3) 行政

- ・行政は主体的に解決できない ・個人の権限を尊重する、見守ることと近隣の課題解決能力に期待する ・予算が潤沢でないこと ・個別課題の解決は経験豊富ゆえ得意だが、複雑に入り組んだ案件は不得意 ・解決の仕組みづくりが必要

<まとめ>

行政の提案

善福寺川、神田川等水の資源と森を組み合わせた、まちの庭園構想、市民の健康と街づくり運動の開始

～杉並区庭園をウォーキングしよう、自然を学ぼう！

この事業を行政が提唱し、事業企画者を公募する